

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院における輸血後感染症検査の動向：医師及び患者意識調査も踏まえて

2. 研究の対象患者

2016年11月1日から2018年11月30日までの期間に旭中央病院で輸血を受けた患者さんで、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

1) 選択基準

- ・ 当院での輸血後3ヶ月以上経過した患者さん
- ・ 研究実施時点で当院でフォロー中の患者さん
- ・ 性別、年齢不問

2) 除外基準

- ・ 死亡例、転院例
- ・ 輸血後感染症検査実施済み症例
- ・ 終末期症例(緩和ケア病棟入院中や心肺蘇生不要の意思表示症例)
- ・ その他、研究責任者(分担研究者)が被験者として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2016年11月1日～2018年11月30日

4. 研究の概要

輸血後感染症は依然として憂慮される合併症ではあるが、近年の個別NAT検査導入等により発症頻度は著減し、現行の検査方法に対する見直しの論議も起こっている。一方、この10年で見ると、各施設が様々な取り組みを行い、輸血後感染症の検査実施率向上に努めてきた面がある。

当院では、2016年11月より輸血部から電子カルテの初期画面に通知し、認知活動を行ってきた。約2年経過による成果に加え担当医及び患者意識動向にも着目し、問題点や今後の課題を検証する。

5. 研究実施予定期間

2019年1月16日～2019年5月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者背景：年齢、性別、診断名、既往歴、合併症、輸血日、輸血量、輸血後感染症検査の実施状況、最終観察日、最終ステータス
患者及び医師へのアンケート調査

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者：輸血部 石井 昭広
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111 (代)